

役員業績評価 (令和5(2023)年度)

法人名(団体名)	川崎市信用保証協会	役職	会長・専務理事・常務理事
----------	-----------	----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組													
取組No.	事業名	指標		現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による評価 ・達成状況 (90%) ・費用対効果 (10%)	ウェイト	加点率	評点
①	保証事業	保証承諾金額		35,225	40,000	47,150	百万円	a	伴走支援型経営改善資金による借換需要等の増加により、目標値を上回りました。	B	45.0	0.8	36.0
		保証債務残高		212,794	188,000	184,096	百万円	c	保証承諾は増加したものの、借換や見込を上回る償還などもあり、目標値を下回りました。				
		経営支援のための企業訪問		670	600	900	回	a	エネルギーや原材料の価格高騰等の影響により、中小企業者等を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いているため、条件変更や返済が滞る前の早い段階で経営状況を把握するなど、金融機関と連携し「予防的アプローチ」等の訪問支援を実施したことにより、目標値を上回りました。				
		事業別の行政サービスコスト (①～②事業合計)	本市財政支出 (直接事業費)	21,334 (3,734,523)	98,972 (6,471,703)	65,568 (5,737,575)	千円	1)	令和5年度における市財政支出である代位弁済補助金については、令和3年度や令和4年度を上回ったものの、目標値の範囲内になりました。	(2)			
②	回収事業	元損回収金額		389	450	483	百万円	a	回収事業において、物件の売却が進んだこと等により元損回収金額、実際回収率ともに目標を達成しました。ただし、無担保求償権や第三者保証人のない求償権が増加している厳しい回収環境であることから、今後も引き続き回収に努めてまいります。	A	15.0	1.0	15.0
		実際回収率		0.64	0.60	0.93	%	a					
2. 経営健全化に向けた取組													
取組No.	項目名	指標		現状値 (令和3(2021) 年度)	目標値 (令和4(2022) 年度)	実績値 (令和4(2022) 年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による 評価 ・達成状況	ウェイト	加点率	評点
①	経営基盤の強化	経常・経常外収支比率		121.6	107	114.1	%	a	契約事務規程に基づき印刷、備品購入、リースなどについて、複数の業者から提案を受け、適正な価格を見極めたうえで契約を行い、経費抑制に努めました。また、経常支出のうち業務費は540百万円で、予算617百万円の範囲内に収めることができました。	A	10.0	1.0	10.0
		基金準備金造成		460	256	445	百万円	a	信用保証事業、回収事業等を適切に運営するとともに、収入確保と効率的な業務運営による経費抑制に加え、安全で効率的な資金運用を行う等により収益確保に努め、収支差額変動準備金に445百万円、基金準備金に445百万円を繰入し経営基盤の強化を図りました。		10.0	1.0	10.0
		安全で効率的な資金運用		227	250	264	百万円	a	「資金運用規程」「自己資金運用要領」「自己資金運用計画」に基づき、安全で効率的な資金運用を行うことにより、有価証券利息配当金264百万円を計上しました。		10.0	1.0	10.0
3. 業務・組織に関する取組													
取組No.	項目名	指標		現状値 (令和3(2021) 年度)	目標値 (令和4(2022) 年度)	実績値 (令和4(2022) 年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による 評価 ・達成状況	ウェイト	加点率	評点
①	資質向上を図るための人材育成	人材育成に関する取組		12	13	13	人	a	職員の中小企業者等への支援能力を高めるため、中小企業診断士や全国信用保証協会連合会の信用調査検定の資格取得を推進しており、中小企業診断士に1名、信用調査検定(上級)に1名が資格取得しました。 また、職員の能力向上を図るため、連合会主催の業務知識向上等の研修17講座に25名が受講いたしました。	A	5.0	1.0	5.0
②	経営の透明性の向上	情報発信回数		20	20	20	回	a	経営の透明性向上のための取組として、年度経営計画に係る業務実績並びにその評価等をホームページで公表(1回)しました。このほかディスクロージャー誌を発行(1回)、また、広報誌を6回発行するとともに、統計資料を12回、これらもホームページに掲載いたしました。	A	5.0	1.0	5.0
合計										A	100.0	—	91.0

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60％以上～現状値未満、d. 目標達成率60％未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100％未満、2). 実績値が目標値の100％以上～110％未満、3). 実績値が目標値の110％以上～120％未満、4). 実績値が120％以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)

費用対効果 目標達成状況	(1)十分である (0.5)	(2)概ね十分である (0.4)	(3)やや不十分 である(0.2)	(4)不十分である (0.0)	なし (×2)
A.目標を達成した (0.5)	1.0	0.9	0.7	0.5	1.0
B.ほぼ目標を達成した (0.4)	0.9	0.8	0.6	0.4	0.8
C.目標未達成のものがある が一定の成果があった(0.2)	0.7	0.6	0.4	0.2	0.4
D.現状を下回るものが 多くあった(0.1)	0.6	0.5	0.3	0.1	0.2
E.現状を大幅に下回った (0.0)	0.5	0.4	0.2	0.0	0.0